## 事務事業評価シート (評価対象年度:令和 2 年度)

1.基本的事項 【PLAN】

THE THE PROPERTY OF THE PROPER	<u> </u>	4											
①事務事業名		業					②事業	番号	1409				
③事業類型		1. 法上(必	(須)事業		4 開	始年度	昭	和	31 年度	⑤終了予	定年度		年度 〇 設定なし
⑥根拠法令等	〇 法令	〇 条例	〇 規則	[[]	要綱	計	画等	0	その他	法令等の	名称	泉南市消	防団設置条例
⑦実施手法	直営		全部委託	-i	部委託	O 補	助·負	担	その	D他			
8関連予算科目	コード		款	8	項		1		目		2	細目	1
⑨担当部名		(	⑩担当課名									会計	一般会計
総合政策部													

## 2. 事務事業の現状把握【DO】 [1]事務事業の目的・事業内容

【1】争務争耒の日的・争耒内谷		
(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市消防団	① 泉南市消防団	団体
② 泉南市民	② 泉南市民	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
消防団運営に関する事業として、火災出動時の費用弁償等の支払い、報酬の支払い、福利 厚生事業、教育研修等行う。	① 火災発生件数	回
	② 団員の条例定数	人
	3 –	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
消防団員の士気の高揚及び技術の充実を図り、火災、その他の災害から市民の生命、身体及び財産を守る。	消火活動出動回数	回
	計算式 — —	
	団員数	人
	計算式 —	
	3	
	計算式 —	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
社会環境の変化により、多様化している災害や事故に対する迅速・適切な消防・救急医療 活動ができる消防体制の基盤を充実する。	政策(章) 4 おだやかに暮らせる、安全と安心	のまち
	施策大(節) 1 災害や事故に対してその被害を最なまちをめざします	最小化できる安全
	施策中 2 <mark>消防・救急体制の充実</mark>	
	施策小 1 消防体制基盤の充実	

[2]各種指標値、事業費の推移

<u>LZ.</u>	」	<b>値、事業費の推移</b>								
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	お無はの状むにかけて	
	対象指標① 泉南市消防団		団体	6	6	6	6	6	指標値の推移における 特殊要因などの説明	
対象	象指標② 泉南市民		人	61,984	61,457	60,795	_	_	17/77文四:80000000	
活重	助指標①	火災発生件数		9	17	6	_	_		
活重	助指標②	団員の条例定数	人	173	173	173	_	_		
活重	助指標③	—								
	指標① 消火活動出動回数			7	7	4	_	_	_	
成县	具指標②	団員数	人	173	172	172	_	_		
成县	具指標③	—								
	投入人員	正職員	人	0.46	0.56	0.57	0.56		事業費などの推移にお	
<b>±</b>		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		ける特殊要因などの説	
争	尹 坐	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		明	
書	事 業 事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	3,729	4,319	4,350	4,274			
~		直接事業費	千円	34,326	43,771	35,437	37,812		R1増の要因は需	
		総事業費	千円	38,055	48,090	39,787	42,086		用費被服費6,063千	
п.	」 国庫支出金		千円	0	0	0	0		円、備品購入費機械 器具費1,834千円消	
財源				0	0	0	0		防団ポンプ車操法訓	
加内	受益者負担:	金	千円	0	0	0	0		練に伴う資機材及び	
訳	その他特定則	<b>オ源</b>	千円	4,427	4,992	7,234	8,808		デジタル無線機等。	
ш. <b>С</b>	一般財源		千円	33,628	43,098	32,553	33,278			

## [3]事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	消防法の規定により、昭和44年10月14日、泉南市条例第15号の規定により 消防団組織設置条例が設置と同時に開始された。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように 変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	ライフスタイルの多様化や住環境の変化に伴い、広域に至る大規模な火災や 災害対応において、消防署との連携強化を図ることができた。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	_

は 目 市民のニーズや社会環境に A.高い ますか。 果向上の余地はありません とができませんか。) 持つ事務事業はありませんか、	ア B.や	ア. イ. ウ. マ.イ.	「い C.やく 合っている ある程度 いない 「い C.やく 得られている ある程度 いない	消防団 心安全を <b>5低い</b> 近年、	D.低い  評価及び理由・説明等  別員は非常勤特別職のは を確保することは、行政  D.低い  大阪府消防協会の指導 対し、成果を得ている。	也方公務員であり、 の責務である。 【2】の評価	Α
<b>A.高い</b> ますか。 ま中しの余地はありませんとができませんか。) まつ事務事業はありませんか、	B.や ア	イ. ウ. ア.イ. ウ.	ある程度 いない <b>(い C.やく</b> 得られている ある程度 いない	心安全を <b>低い</b> 近年、	を確保することは、行政 <b>D.低い</b> 大阪府消防協会の指導	の責務である。 【2 <b>】の評価</b>	Α
ますか。 果向上の余地はありません とができませんか。) 手つ事務事業はありませんか、	ア	ア. イ. ウ.	得られている ある程度 いない	近年、	大阪府消防協会の指導	4 7 · m· u=	
果向上の余地はありません とができませんか。) 寺つ事務事業はありませんか、		イ. ウ.	ある程度いない	近年、		により、複雑多様(	ヒする消り
とができませんか。)  ちつ事務事業はありませんか、	ア	ア.	<del>なる</del>				
	_	イ.	ない	消防団	消防団員のスキルアップや資機材の充実。		
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、 それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できません か。					_	-	
A.高い	B.や	や高	い C.やt	5低い	D.低い	[3]の評価	Α
	1				_	-	
					B:課題が少しあり事業 (事業の進め方にで C:課題が多くあり事業 (事業規模、内容、	kの一部見直しが必 牧善が必要) kの大幅な見直しが 実施主体の見直し	必要 が必要)
N]							
5針>				(  医主体や!	<b>→</b> 年まで) ( <b>→</b>	··-	発止 Fから) 
	コスト(直接事業費+人件費) を 別容の見直し、IT化などはできませる	コスト(直接事業費+人件費)を 日容の見直し、IT化などはできませ の別解価の結果を踏っ 活動助成について、今後検言 のN】  まま継続 イ. 見直しのう	コスト(直接事業費+人件費)を 内容の見直し、IT化などはできませ イ イ イ イ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	IAN (直接事業費+人件費)を	コスト(直接事業費+人件費)を 日本の見直し、IT化などはできませ イ. ない の) 個別評価の結果を踏まえて課題等を整理 活動助成について、今後検討の余地がある。 の) まま継続 イ. 見直しのうえで継続 「分十ン 集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や)	TAN (直接事業費+人件費)を   TAN (直接事業費+人件費)を   TAN (	スト(直接事業費+人件費)を   イ

②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題 及び考えられるその解決策